

特別プログラム

〔第1日 11月6日（木）〕

＜会長講演＞ 第1会場「メインホール」 14：40～15：10

「守破離に学ぶ神経治療—Stroke Neurologist として」

座長：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科学）

演者：平野 照之（杏林大学医学部脳卒中医学・神経内科学）

＜理事長講演＞ 第1会場「メインホール」 15：10～15：40

「本学会が目指すもの」

座長：平野 照之（杏林大学医学部脳卒中医学・神経内科学）

演者：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科学）

＜特別講演＞ 第1会場「メインホール」 15：40～16：10

「荒木淑郎先生を偲んで」

座長：内野 誠（くまもと南部広域病院）

師、荒木淑郎先生—日本神経学、アミロイドーシス研究・診療のパイオニア

安東由喜雄（医療法人杉村会杉村病院、長崎国際大学特任教授）

＜教育講演1＞ 第4会場「A2」 9：00～9：40

「治療につながる抗体測定とは」

座長：磯部 紀子（九州大学大学院医学研究院神経内科学教室）

演者：中根 俊成（富山大学脳神経内科）

＜教育講演2＞ 第4会場「A2」 9：40～10：20

「自分流不随意運動のみかた」

座長：長谷川一子（国立病院機構相模原病院脳神経内科・神経難病研究室）

演者：宇川 義一（福島県立医科大学生体機能研究部門）

＜教育講演3＞ 第4会場「A2」 10：20～11：00

「MSとNMOSDにおける脳萎縮：最新の縦断研究をふまえて」

座長：池口亮太郎（東京女子医科大学脳神経内科）

演者：栢田 大生（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

＜教育講演4＞ 第4会場「A2」 16：20～17：00

「今、改めて考える神経感染症：細菌性髄膜炎・ウイルス性中枢神経感染症の診断治療戦略」

座長：高嶋 博（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経内科・老年病学講座）

演者：中嶋 秀人（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

＜教育講演5＞ 第4会場「A2」 17：00～17：40

「パーキンソン病診療におけるCDS；理論と現実」

座長：西川 典子（順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科）

演者：向井 洋平（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科診療部）

＜教育講演 6＞ 第4会場「A2」 17:40～18:20

「抗体陰性の神経筋接合部疾患の診断と治療」

座長：王子 聡（埼玉医科大学総合医療センター脳神経内科）

演者：畑中 裕己（帝京大学医学部脳神経内科）

＜シンポジウム 1＞ 第1会場「メインホール」 9:00～11:00

「国際化・創薬セッション」

座長：中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター病院筋疾患センター臨床研究支援室）

鈴木 啓介（国立長寿医療研究センター先端医療開発推進センター）

- (1) 神経治療学会の国際化の取り組み
佐久嶋 研（北海道大学病院医療・ヘルスサイエンス研究開発機構）
- (2) がん領域における国際化の取り組み
中村 健一（国立がん研究センター中央病院国際開発部門）
- (3) 企業における海外開発の日本誘致に関する取り組み
谷垣 任優（アキュリスファーマ（株））
- (4) 神経治療学会の国際化に向けて ASENT との連携について
中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター）

＜シンポジウム 2＞ 第2会場「シビックホール」 9:00～11:00

「がんと脳卒中～Stroke Oncology～を考える」

座長：藤本 茂（自治医科大学医学部内科学講座神経内科学部門）

河野 浩之（杏林大学医学部脳卒中医学）

- (1) 腫瘍脳卒中学に対する学会の取り組み
河野 浩之（杏林大学医学部脳卒中医学）
- (2) データベース研究で迫るがん関連脳梗塞
河野 友裕（大阪大学大学院医学系研究科神経内科学）
- (3) がん関連脳梗塞に対する抗血栓薬の考え方
上野 祐司（山梨大学医学部神経内科）
- (4) がん関連脳卒中に対する急性期血管内再開通療法の考え方
早川 幹人（筑波大学附属病院脳卒中科，筑波大学医学医療系神経内科）
- (5) がん関連脳卒中のリハビリテーションの課題
中島 誠（熊本大学脳神経内科）

＜シンポジウム 3＞ 第3会場「A1」 9:00～11:00

「次世代のMS/NMO 創薬シーズ」

座長：中島 一郎（東北医科薬科大学医学部脳神経内科学）

村井 弘之（国際医療福祉大学医学部脳神経内科学）

- (1) 多発性硬化症に対する血液脳関門という治療標的
西原 秀昭（山口大学大学院医学系研究科臨床神経学講座）
- (2) 多発性硬化症における腸内細菌叢の株レベル解析から拓く次世代治療戦略
竹脇 大貴（国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部，国立精神・神経医療研究センター多発性硬化症センター）

- (3) 次世代の MS/NMO 創薬シーズ：好中球と T 細胞抑制
河内 泉（新潟大学脳研究所・医歯学総合病院脳神経内科，新潟大学大学院医歯学総合研究科医学教育センター）
- (4) 新たな治療標的：グリアアセンブリ
山崎 亮（九州大学大学院医学研究院神経内科学分野）

<シンポジウム 4> 第 6 会場「A4」 9：00～11：00

「認知症の有病率はなぜ減少したのか～コホート研究から考える～」

座長：小野賢二郎（金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学）

松川 則之（名古屋市立大学神経内科学）

- (1) 久山町研究から考える認知症有病率の時代的变化とその要因
小原 知之（九州大学大学院医学研究院精神病態医学，九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学）
- (2) 生活習慣による認知症予防を目指した白杵コホート研究
木村 成志（大分大学医学部神経内科学講座）
- (3) J-MINT 研究から学んだこと ～社会実装にむけて～
櫻井 孝（国立長寿医療研究センター研究所）
- (4) 認知症有病率減少についての考察：石川健康長寿プロジェクトから
篠原もえ子（金沢大学医学系脳神経内科学）

<シンポジウム 5> 第 1 会場「メインホール」 16：20～18：20

「ALS 遺伝子治療の最前線 ―課題と未来への展望」

座長：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野）

山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学脳神経内科学）

- (1) 核酸医薬による中枢神経疾患治療の課題と克服への展望
吉岡耕太郎（東京科学大学国際医工共創研究院核酸・ペプチド創薬治療研究センター，東京科学大学医歯学総合研究科脳神経病態学分野）
- (2) 見逃さない！ SOD1-ALS の臨床的特徴
清水 俊夫（東京都立神経病院脳神経内科，東京都立府中療育センター脳神経内科）
- (3) SOD1-ALS の病態・臨床像とトフェルセンによる治療展開
長野 清一（大阪大学大学院連合小児発達学研究科神経発達・変性疾患共同研究講座，大阪大学大学院医学系研究科神経内科学）
- (4) 遺伝子治療時代に向けた迅速遺伝子診断の体制構築
西山亜由美（東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学）
- (5) 遺伝子治療時代における ALS 遺伝医学の実践
高橋 祐二（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科診療部）

<シンポジウム 6> 第 2 会場「シビックホール」 16：20～18：20

「脳卒中後遺障害への介入 update」

座長：猪原 匡史（国立循環器病研究センター脳神経内科）

佐治 直樹（国立長寿医療研究センターもの忘れセンター）

- (1) 脳卒中後てんかんへの介入：予防・治療・連携の最適化
松原崇一郎（熊本大学病院脳神経内科）
- (2) 脳卒中後嚥下障害への介入
鈴木健太郎（日本医科大学武蔵小杉病院脳神経内科）

- (3) 脳卒中後失語は予後を規定するか—日韓国際共同研究からの知見—
田中 智貴（国立循環器病研究センター脳神経内科）
- (4) 脳卒中後遺症としての便秘症の病態
殿村 修一（国立循環器病研究センター脳神経内科）

<シンポジウム 7> 第3会場「A1」 16:20～18:20

「新薬登場後の治験の進め方 ～効率化を目指したプラットフォームの活用～」

座長：橋詰 淳（名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部 / 名古屋大学大学院医学系研究科臨床研究教育学）

藤岡 俊樹（東邦大学医療センター大橋病院）

- (1) 新薬登場後の ALS 治験
和泉 唯信（徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野）
- (2) CIDP レジストリ：創薬から育薬までをめざして
三澤 園子（東京科学大学脳神経病態学分野）
- (3) 希少疾患での開発効率化を目指して 筋疾患を事例として
中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター）
- (4) アルツハイマー病の治験におけるプラットフォームの活用
鈴木 啓介（国立長寿医療研究センター先端医療開発推進センター）

<シンポジウム 8> 第6会場「A4」 16:20～18:20

「筋炎診療の未来図：治療戦略の最適化を目指して」

座長：山下 賢（国際医療福祉大学成田病院脳神経内科）

西野 一三（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部）

- (1) 『多発性筋炎・皮膚筋炎診療ガイドライン 2025』徹底解説：診断から治療まで
杉江 和馬（奈良県立医科大学脳神経内科学講座）
- (2) 診断難渋例から学ぶ筋炎の統合的診断アプローチ
江浦 信之（奈良県立医科大学脳神経内科学）
- (3) 筋病理から治療へ：筋炎における組織学的特徴と治療選択
漆葉 章典（信州大学医学部脳神経内科, リウマチ・膠原病内科）
- (4) 自己抗体による筋炎治療の最適化に向けて
鈴木 重明（東京都立神経病院脳神経内科）
- (5) 封入体筋炎：病態解明から治療革新への挑戦
山下 賢（国際医療福祉大学医学部脳神経内科学）

<マラソンレクチャー 1> 第5会場「A3」 9:00～9:40

「高次脳機能障害の診かた 「高次は地味だが役に立つ」」

座長：米原 敏郎（済生会熊本病院脳神経内科）

演者：稲富雄一郎（済生会熊本病院脳神経内科）

<マラソンレクチャー 2> 第5会場「A3」 9:40～10:20

「症例で学ぶ頭痛の画像診断」

座長：伊藤 瑞規（藤田医科大学ばんだね病院脳神経内科）

演者：平井 俊範（熊本大学大学院生命科学研究部放射線診断学講座）

<マラソンレクチャー 3> 第5会場「A3」 10:20～11:00

「めまいをいかに診断するか」

座長：城倉 健（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）

演者：工藤 洋祐（横浜市立市民病院脳神経内科）

<マラソンレクチャー 4> 第5会場「A3」 16:20～17:00

「神経内科医に必要な保険診療の基本とTIPS」

座長：荻野美恵子（国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・脳神経内科学）

演者：海野 佳子（杏林大学医学部脳卒中医学教室）

<マラソンレクチャー 5> 第5会場「A3」 17:00～17:40

「その頭痛、見逃していませんか？ ～一次性・二次性頭痛の見分け方と対応～」

座長：海野 佳子（杏林大学医学部脳卒中医学）

演者：橋本洋一郎（済生会熊本病院脳卒中センター）

<マラソンレクチャー 6> 第5会場「A3」 17:40～18:20

「自己免疫性脳炎・自己免疫性GFAPアストロサイトパチーの最前線」

座長：中根 俊成（富山大学脳神経内科）

演者：半田 秀雄（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科）

<大会校企画> 第1会場「メインホール」 11:10～11:50

「T-FLAVOR：脳卒中領域でのドラッグロス解消に向けた取り組み」

座長：豊田 一則（国立循環器病研究センター脳血管部門）

岩崎 幸司（大阪大学）

(1) 静注血栓溶解：日本の足跡 JTSG, J-ACT から THAWS まで

長尾 毅彦（日本医科大学武蔵小杉病院）

(2) T-FLAVOR main result 【WSC 2025 アンコール発表】

井上 学（国立循環器病研究センター）

(3) お茶会裏話：TNK 国内導入で遭遇した諸問題

平野 照之（杏林大学脳卒中医学）

指定発言：山本 晴子（国立循環器病研究センター）

<鍼灸ハンズオンセミナー（第1回）> 第9会場「E」 16:10～17:40

テーマ：神経疾患の疼痛に対する鍼灸治療の実例—薬物が用いづらい頭痛患者への対応—

講師：山口 智（埼玉医科大学東洋医学科客員教授）

菊池 友和（日本鍼灸治療専門学校 東洋医学研究所主任研究員）

池藤 仁美（関西医療大学 はり灸・スポーツトレーナー学科助教）

内容：1. 講義：鍼灸治療の基本と経絡・経穴（ツボ）の取り方

2. 実技供覧：頭痛に対する治療ポイント

3. 個別指導：鍼（通常鍼）、円皮鍼（簡易型鍼）、鍼通電、電子温灸機を用いた体験実習

定員：20名（事前登録制・先着順）

共催：日本東洋医学会・全日本鍼灸学会

〔第2日 11月7日（金）〕

＜海外招請講演1＞ 第1会場「メインホール」 13：40～14：20

〔MG〕

座長：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野）

Advances in Diagnosis and Treatment of Myasthenia Gravis

Tuan Hoang Vu（Professor of Neurology, University of South Florida, USA）

＜海外招請講演2＞ 第1会場「メインホール」 14：20～15：00

〔ASENT〕

座長：冨本 秀和（三重県済生会明和病院 / 三重大学大学院）

Challenges and Opportunities in U.S. Clinical Research on Cell-Based Therapies for Stroke

Sean Savitz（The University of Texas Health Science Center at Houston (UTHealth)）

＜REFINED-IC 特別企画＞ 第1会場「メインホール」 15：10～17：10

「対話から描く，緊急臨床試験の新しいカタチ ～脳卒中超急性期での試験参加とインフォームドコンセント～」

座長：山本 晴子（国立循環器病研究センター）

南 学（国立循環器病研究センター データサイエンス部）

パネリスト：川勝 弘之（日本脳卒中協会）

(1) 緊急医療臨床試験の IC を巡る課題 ～セッションの背景と目的～

福田 真弓（国立循環器病研究センター データサイエンス部／脳血管内科）

(2) 臨床研究者がよじ登る試験参加時同意取得の高い壁

豊田 一則（国立循環器病研究センター脳血管部門）

(3) グローバル開発における緊急時臨床試験の意義と課題（ドラッグ・ロス防止と国際共同試験への参画に向けて）

中路 茂（日本製薬工業協会医薬品評価委員会，アステラス製薬（株））

(4) GCP 省令における同意説明及び同意取得について

山口 光峰（医薬品医療機器総合機構信頼性保証第一部長）

(5) 緊急時臨床研究の倫理と規制

田代 志門（東北大学大学院文学研究科）

＜教育講演7＞ 第4会場「A2」 8：20～9：00

「アルツハイマー病診療の現状と将来展望」

座長：尾方 克久（国立病院機構東埼玉病院）

演者：小野賢二郎（金沢大学医薬保健研究域脳神経内科学）

＜教育講演8＞ 第4会場「A2」 9：00～9：40

「一人の患者から始まる薬：N-of-1 創薬とは何か」

座長：山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学脳神経内科学）

演者：桑原 宏哉（東京科学大学脳神経病態学分野（脳神経内科），東京科学大学核酸・ペプチド創薬治療研究センター（TIDE））

＜教育講演 9＞ 第4会場「A2」 9：40～10：20

「世界との競争のための産学共創：創薬に活かすレジストリ構築」

座長：桑原 聡（千葉大学）

演者：三澤 園子（東京科学大学脳神経病態学分野）

＜教育講演 10＞ 第4会場「A2」 10：20～11：00

「神経筋電気診断とは？ —その醍醐味」

座長：有村 公良（大勝病院）

演者：幸原 伸夫（神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科）

＜教育講演 11＞ 第4会場「A2」 15：10～15：50

「進行性穿通枝梗塞の治療戦略」

座長：木村 和美（熊本大学病院脳卒中治療学寄附講座）

演者：尾原 知行（京都府立医科大学脳神経内科）

＜教育講演 12＞ 第4会場「A2」 15：50～16：30

「FND：近年のイノベーション」

座長：渡辺 宏久（藤田医科大学医学部脳神経内科学教室）

演者：園生 雅弘（帝京大学医療技術学部視能矯正学科，帝京大学脳神経内科）

＜教育講演 13＞ 第4会場「A2」 16：30～17：10

「神経変性疾患鑑別の要諦—画像病理連関を通して—」

座長：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

演者：徳丸 阿耶（東京都健康長寿医療センター放射線診断科）

＜シンポジウム 9＞ 第1会場「メインホール」 9：00～11：00

「プレクリニカル期のアルツハイマー病予防戦略」

座長：富本 秀和（三重県済生会明和病院 / 三重大学大学院）

鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）

(1) アルツハイマー病トライアルレディコホート J-TRC

新美 芳樹（東京大学医学部附属病院早期・探索開発推進室／認知症共生社会創成治療学）

(2) 脳ドックにおける早期アルツハイマー病診断の展望

薬師寺祐介（関西医科大学神経内科学講座）

(3) 抗アミロイドβ抗体薬時代の脳健診の展望

伊東 大介（慶應義塾大学医学部・内科学（神経），慶應義塾大学医学部・メモリーセンター）

(4) 早期診断を目指した認知症神戸モデル

古和 久朋（神戸大学大学院保健学研究科）

＜シンポジウム 10＞ 第2会場「シビックホール」 9：00～11：00

「パーキンソン病の Precision Medicine を目指して」

座長：坪井 義夫（順天堂大学大学院医学研究科 PD 長期観察共同研究講座）

高橋 一司（東京都立神経病院脳神経内科）

(1) パーキンソン病の病態と創薬への展望

渡辺 宏久（藤田医科大学医学部脳神経内科学）

- (2) パーキンソン病の precision medicine に資する液性バイオマーカーについて
齊木 臣二 (筑波大学医学医療系神経内科学)
- (3) パーキンソン病の Precision Medicine；画像マーカーから見た展望
島田 齊 (新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター臨床機能脳神経学分野, 量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所脳機能イメージング研究センター)
- (4) 臨床遺伝学から見た Parkinson 病の Precision Medicine
代田 健祐 (順天堂大学医学部附属静岡病院脳神経内科, 順天堂大学医学部脳神経内科)
- (5) パーキンソン病の運動療法における個別化医療の試み
三原 雅史 (川崎医科大学神経内科学)

<シンポジウム 11> 第3会場「A1」 9:00～11:00

「卵円孔開存とブレインハートチーム」

座長：豊田 一則 (国立循環器病研究センター脳血管部門)

竹川 英宏 (獨協医科大学病院脳卒中センター)

- (1) 脳梗塞患者の卵円孔開存を見つけるポイント
寺澤 由佳 (脳神経センター大田記念病院脳神経内科)
- (2) いつもご紹介頂き有難うございます。我々はこうやって閉じています
坂本 知浩 (済生会熊本病院心臓血管センター循環器内科)
- (3) ブレインハートチームの目的と運営
吉村 壮平 (国立循環器病研究センター脳卒中治療科)
- (4) 経皮的卵円孔開存閉鎖術後の抗血栓薬はどうするか
大木 宏一 (東京都済生会中央病院脳神経内科)

<シンポジウム 12> 第6会場「A4」 8:30～11:00

「増え続ける ALS 治療薬開発を成功に導く戦略」

座長：狩野 修 (東邦大学医学部脳神経内科)

森田 光哉 (自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター)

- (1) グローバル試験の問題と克服すべき課題
平山 剛久 (東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野)
- (2) リアルワールドデータによるエダラボン有効性の評価
祖父江 元 (愛知医科大学)
- (3) ALS 国際共同治験への日本の参画戦略
藤田 浩司 (徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野)
- (4) ALS 臨床試験デザインとアウトカムの再考
熱田 直樹 (愛知医科大学医学部内科学講座 (神経内科))
- (5) 臨床試験推進のための医療 DX・治験 DX
岩田 育子 (北海道大学神経内科, 北海道大学病院軽度認知障害センター)
- (6) アメリカのレジストリ・臨床試験の光と影
木佐貫 泰 (オハイオ州立大学ウェクスナーメディカルセンター神経内科)

<シンポジウム 13> 第2会場「シビックホール」 15:10～17:10

「多発性硬化症：診療と研究の forefront」

座長：磯部 紀子 (九州大学大学院医学研究院神経内科学教室)

富沢 雄二 (順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科)

- (1) 2024 年改定 McDonald 基準の概要と課題
新野 正明 (国立病院機構北海道医療センター臨床研究部)
- (2) Smouldering-associated worsening in MS
野原千洋子 (東京都立荏原病院脳神経内科)
- (3) MS の病因と病態—どこまで解明されたか
宮崎 雄生 (国立病院機構北海道医療センター脳神経内科)
- (4) MS 治療の限界に挑む糖脂質医薬 OCH の開発
山村 隆 (国立精神・神経医療研究センター)

<シンポジウム 14> 第3会場「A1」 15:10～17:10

「脳神経疾患の再生医療の最前線と更なる推進に向けて」

座長：藤本 陽子 (ロート製薬 (株))

勝野 雅央 (名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学)

- (1) iPS 細胞技術を用いた筋疾患に対する細胞治療法の開発
櫻井 英俊 (京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究部門)
- (2) パーキンソン病に対する iPS 細胞を用いた治療の臨床応用
森実 飛鳥 (神戸市立医療センター中央市民病院再生医療研究部)
- (3) iPS 細胞を用いた再生医療等製品の創製に向けた取り組み
吉田 賢司 ((株) RACTHERA 事業推進部 兼 住友ファーマ (株) 再生・細胞医薬推進室)
- (4) 行政・規制当局からみる再生医療の制度と支援について
稲垣 絵海 (医薬品医療機器総合機構再生医療製品等審査部)

<マラソンレクチャー 7> 第5会場「A3」 8:20～9:00

「脳の CPR：怖くない神経救急」

座長：藤堂 謙一 (東京女子医科大学脳神経内科)

演者：今井 啓輔 (京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科)

<マラソンレクチャー 8> 第5会場「A3」 9:00～9:40

「免疫性ニューロパチーにおける疾患スペクトラムと個別化治療の現状」

座長：海田 賢一 (埼玉医科大学総合医療センター脳神経内科)

演者：桑原 基 (近畿大学医学部脳神経内科)

<マラソンレクチャー 9> 第5会場「A3」 9:40～10:20

「電気生理検査の pitfall ～誤診をしないために～」

座長：大石知瑞子 (杏林大学医学部脳神経内科学教室)

演者：黒川 勝己 (川崎医科大学総合医療センター総合内科学 1)

<マラソンレクチャー 10> 第5会場「A3」 10:20～11:00

「筋萎縮・神経障害をエコーで診る：症例から学ぶ診断と評価」

座長：濱口 浩敏 (北播磨総合医療センター脳神経内科)

演者：高松 直子 (徳島大学病院脳神経内科)

<マラソンレクチャー 11> 第5会場「A3」 15:10～15:50

「脳波は脳の心電図 気軽に脳神経内科医が判読しよう！」

座長：高嶋 博（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経内科・老年病学講座）

演者：古谷 博和（医療法人天神会古賀病院 21 脳神経内科）

<マラソンレクチャー 12> 第5会場「A3」 15:50～16:30

「症例から学ぶ抗てんかん発作薬の使い方：貴方ならどうする？」

座長：赤松 直樹（国際医療福祉大学医学部脳神経内科）

演者：松本 理器（京都大学大学院医学研究科臨床神経学）

<マラソンレクチャー 13> 第5会場「A3」 16:30～17:10

「パーキンソン病治療 update」

座長：大山 彦光（埼玉医科大学脳神経内科・脳卒中科）

演者：馬場 康彦（福岡大学医学部脳神経内科学講座）

特別企画<東洋医学企画> 第6会場「A4」 15:10～17:10

「神経疾患に対する東洋医学治療の守破離 ―漢方薬と鍼灸の臨床的效果を探る―」

座長：荒木 信夫（よみうりランド慶友病院）

山口 智（埼玉医科大学東洋医学科）

(1) 神経疾患に対する五苓散の基本

村松 慎一（自治医科大学東洋医学部門）

(2) 五苓散と CGRP について

光藤 尚（埼玉医科大学東洋医学科・脳神経内科兼任）

(3) 気象変化に伴う頭痛に対する五苓散の有効性

久手堅 司（世田谷内科神経内科）

(4) 自律神経を指標とした頭痛・脳卒中に対する鍼灸治療―脳循環を指標として―

菊池 友和（日本鍼灸理療専門学校・東洋医学研究所）

(5) 多系統萎縮症に対する鍼灸治療の有用性

池藤 仁美（関西医療大学保健医療学部はり灸・スポーツトレーナー学科）

共催：日本東洋医学会，全日本鍼灸学会

<鍼灸ハンズオンセミナー（第2回）> 第9会場「E」 8:30～10:00

テーマ：神経疾患の疼痛に対する鍼灸治療の実践―薬物が用いづらい頭痛患者への対応―

司会：荒木 信夫（よみうりランド慶友病院院長）

講師：山口 智（埼玉医科大学東洋医学科客員教授）

菊池 友和（日本鍼灸理療専門学校 東洋医学研究所主任研究員）

池藤 仁美（関西医療大学 はり灸・スポーツトレーナー学科助教）

内容：1. 講義：鍼灸治療の基本と経絡・経穴（ツボ）の取り方

2. 実技供覧：頭痛に対する治療ポイント

3. 個別指導：鍼（通常鍼），円皮鍼（簡易型鍼），鍼通電，電子温灸機を用いた体験実習

定員：20 名（事前登録制・先着順）

共催：日本東洋医学会・全日本鍼灸学会

＜内科医のための頭痛に対する後頭神経ブロックハンズオンセミナー＞ 第9会場「E」 11：00～12：00
午前の部

講師：下畑 敬子（朝日大学病院麻酔科）

石川 理恵（八戸平和病院麻酔科・ペインクリニック）

共催：キヤノンメディカルシステムズ（株）／富士フイルムメディカル（株）

＜内科医のための頭痛に対する後頭神経ブロックハンズオンセミナー＞ 第9会場「E」 14：00～15：00
午後の部

講師：下畑 敬子（朝日大学病院麻酔科）

石川 理恵（八戸平和病院麻酔科・ペインクリニック）

共催：キヤノンメディカルシステムズ（株）／富士フイルムメディカル（株）

〔第3日 11月8日（土）〕

＜教育講演 14＞ 第4会場「A2」 8:50～9:30

「神経内科医がみるべき頸椎症の診断と治療」

座長：園生 雅弘（帝京大学医療技術学部視能矯正学科）

演者：安藤 哲朗（亀田メディカルセンター脳神経センター脳神経内科）

＜教育講演 15＞ 第4会場「A2」 9:30～10:10

「圧迫性ニューロパチー：診断のコツと電気生理検査の解釈」

座長：黒川 勝己（川崎医科大学総合医療センター内科）

演者：大石知瑞子（杏林大学医学部脳神経内科）

＜教育講演 16＞ 第4会場「A2」 10:10～10:50

「脳と血管のクロストーク：神経血管ユニットの理解と応用」

座長：豊田 一則（国立循環器病研究センター脳血管部門）

演者：中村 晋之（九州大学大学院医学研究院病態機能内科学）

＜シンポジウム 15＞ 第1会場「メインホール」 8:50～10:50

「多職種で考える神経領域の臨床試験・臨床研究 ～餅は餅屋にまかせろ～」

座長：佐久嶋 研（北海道大学病院医療・ヘルスサイエンス研究開発機構臨床研究開発センター）

中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター病院筋疾患センター臨床研究支援室）

(1) PIに任せろ！どう考えて、どう動くか？

勝野 雅央（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

(2) CRCの視点で変わる臨床試験—設計段階から考える現場のリアル—

成田さわな（長崎大学病院臨床研究センター）

(3) マスタープロトコル試験と多職種連携

平川 晃弘（東京科学大学大学院臨床統計学分野）

(4) Fitness for Purpose dataを意識し臨床開発を効率化する—神経希少疾患の臨床データマネジメント—

高田 宗典（東北大学病院臨床試験データセンター）

(5) 多職種で考える神経領域の臨床試験・臨床研究 ～モニターの立場から～

田中 誠也（国立長寿医療研究センター先端医療開発推進センター）

＜シンポジウム 16＞ 第2会場「シビックホール」 8:50～10:50

「移り行く脳梗塞の抗血栓療法ストラテジー」

座長：尾原 知行（京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学）

薬師寺祐介（関西医科大学神経内科学講座）

(1) 新たな血栓溶解薬テネクトプレーゼはわが国で使用可能になるのか？

長尾 毅彦（日本医科大学武蔵小杉病院脳神経内科）

(2) 心原性脳塞栓症へのDOAC導入：1-2-3-4-day ruleとRCTから考える最適時期

木村 俊介（国立病院機構九州医療センター脳血管神経内科）

(3) 非心原性脳梗塞への抗凝固薬の活用（アルガトロバン、ヘパリン）

永金 義成（京都第二赤十字病院脳神経内科）

- (4) 保険者レセプトデータベースを用いた非心原性脳梗塞と虚血性心疾患に対する抗血小板療法の経時的動向

三宅 浩介（関西医科大学神経内科学講座）

<シンポジウム 17> 第3会場「A1」 8:50～10:50

「脳神経内科医が直面する臨床倫理の最前線—終末期・遺伝・治療選択をめぐって—」

座長：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

萩野美恵子（国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・脳神経内科学）

- (1) 神経疾患における治療の差し控え・中止の倫理 —倫理的判断と協働意思決定—

杉浦 真（JA 愛知厚生連安城更生病院）

- (2) 小児神経領域における倫理的課題の現状とこれから

笹月 桃子（早稲田大学人間科学学術院，九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野）

- (3) 認知症新規治療における倫理（APOE 遺伝子検査も含めて）

徳永 純（狭山神経内科病院）

- (4) 脳神経内科医が直面する臨床倫理の最前線—終末期・遺伝・治療選択をめぐって—

山田晋一郎（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

- (5) 機能性神経障害における倫理的課題とその対応

下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

<シンポジウム 18> 第6会場「A4」 8:50～10:50

「ATTRv アミロイドーシス診療の進化：神経内科医が担う最前線」

座長：小池 春樹（佐賀大学医学部脳神経内科）

植田 光晴（熊本大学大学院生命科学研究部脳神経内科学講座）

- (1) ATTRv アミロイドーシス診断と治療の最前線

植田 光晴（熊本大学大学院生命科学研究部脳神経内科学分野）

- (2) 発症前診断と早期治療導入：at-risk 者への臨床遺伝学的アプローチ

中村 勝哉（信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター，信州大学医学部脳神経内科，リウマチ・膠原病内科）

- (3) 非集積地における ATTRv アミロイドーシス診療の変遷と課題

増田 曜章（大分大学医学部神経内科学講座）

- (4) ATTRv アミロイドーシスの診療体制と連携

三隅 洋平（熊本大学脳神経内科）

<シンポジウム 19> 第1会場「メインホール」 12:10～13:40

「産官学で取り組む脳神経疾患の PPI」

座長：伊藤 瑞規（藤田医科大学ばんだね病院脳神経内科）

松田 尚人（バイオジェン・ジャパン（株）開発本部）

- (1) ALS における PPI と Patient Advocacy

狩野 修（東邦大学医学部脳神経内科）

- (2) 国内外の患者会との連携

山田晋一郎（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

- (3) 一般社団法人ピー・ピー・アイ・ジャパンの活動，ならびに産業界における PPI の取組みのご紹介

三木 敏（一般社団法人ピー・ピー・アイ・ジャパン）

- (4) AMED における患者・市民参画 (PPI) : 医療研究開発の「社会共創」に向けて
勝井 恵子 (日本医療研究開発機構 (AMED))
- (5) がん領域の患者・市民参画 (PPI)
有賀 悦子 (帝京大学医学部緩和医療学講座)

<シンポジウム 20> 第3会場「A1」 12:10 ~ 13:40

「認知症などの高齢者の神経治療体制における多診療科連係による共同診療」

座長: 野元 正弘 (済生会今治病院脳神経内科)

中島 健二 (国立病院機構松江医療センター / 鳥取大学)

- (1) 遺伝子と認知症 (キャリアオーバーの話題も含めて)
長谷川一子 (国立病院機構相模原病院脳神経内科・神経難病研究室)
- (2) パーキンソン病・レビー小体病 (高齢者認知症・高齢者精神病の話題も含めて)
野元 正弘 (済生会今治病院臨床研究センター・脳神経内科)
- (3) 認知症の多診療科連携による共同診療
和田 健二 (川崎医科大学認知症学)

<シンポジウム 21> 第4会場「A2」 12:10 ~ 13:40

「脳梗塞治療の未来を拓く: 創薬の最前線」

座長: 八木田佳樹 (川崎医科大学医学部脳卒中医学教室)

島村 宗尚 (大阪大学大学院医学系研究科遺伝子幹細胞再生治療学・神経内科学)

- (1) 再生誘導医薬の基礎と臨床
玉井 克人 (大阪大学医学系研究科, (株) ステムリム)
- (2) 抗炎症血栓溶解剤 TMS-007 による脳梗塞急性期治療
新妻 邦泰 (東北大学大学院医工学研究科神経再建医工学分野, 東北大学大学院医学系研究科神経病態制御学分野)
- (3) 脳梗塞に対する幹細胞治療の展望
川堀 真人 (北海道大学医学研究院脳神経外科, (株) RAINBOW)
- (4) アドレノメデュリンによる CADASIL 創薬
猪原 匡史 (国立循環器病研究センター脳神経内科)
- (5) A Novel Therapeutic Approach to improve motor dysfunction in chronic monkey stroke model
木村 円 (アステラス製薬 (株)), 伏木 洋司 (アステラス製薬 (株))

<マラソンレクチャー 14> 第5会場「A3」 8:20 ~ 9:00

「脳神経超音波検査 基礎編 —頸動脈超音波検査—」

座長: 藤本 茂 (自治医科大学医学部内科学講座神経内科学部門)

演者: 寺澤 由佳 (脳神経センター大田記念病院脳神経内科)

<マラソンレクチャー 15> 第5会場「A3」 9:00 ~ 9:40

「脳神経超音波 応用編 (PFO をみつける経頭蓋超音波)」

座長: 大木 宏一 (東京都済生会中央病院脳神経内科)

演者: 河野 浩之 (杏林大学医学部脳卒中医学)

<ハンズオンセミナー> 第9会場「E」 9:45～10:45

「TCCFIによるPFO検出方法の習得と検出率の向上」

講義：TCCFI (Transcranial Color Flow Image) によるPFO検出方法

講師：河野 浩之（杏林大学医学部附属病院脳卒中科）

山本 多美（済生会熊本病院中央検査部生理検査室）

共催：アボットメディカルジャパン（合）／GEヘルスケア・ジャパン（株）

<市民公開講座 日本脳卒中協会，熊本県支部共催> 第2会場「シビックホール」 11:30～13:10

全体司会：和田 邦泰（日本脳卒中協会熊本県支部長・熊本市民病院脳神経内科）

開会挨拶：橋本洋一郎（副支部長・済生会熊本病院脳卒中センター）

1. 講演1：脳卒中の予防と初期対応（予定）中島 誠
2. 講演2：脳卒中発症後のケア（予定）済生会病院脳卒中認定看護師
休憩
3. 講演3：脳卒中の外科治療と血管内治療（予定）賀来 泰之
4. 講演4：脳卒中患者さんの経験談（予定）
5. 全体質疑

閉会挨拶：武笠 晃丈（副支部長・熊本大学脳神経外科）